

第7回ワーキング会議

(仮称)大江緑道等の個別テーマ検討会

『ワーキング会議』とは、地域みなさまに集まっていただき、議題を決めて自由に意見を交換し、出てきた様々な意見を、一つの考え方や方向にまとめていく場です。

今回の「第7回ワーキング会議」では、これまでに議論をしてまいりました「水郷景観の再生」「民活イベント・物販」の2つのテーマについて、議論を深めることを目的に開催します。興味のあるテーマの検討会に自由に入っていたいただき、みなさまのご意見をお聞かせください。

平成23年度の会議や、平成24年度に開催した「第4～6回ワーキング会議」に参加できなかった方も、ふるってご参加ください。また海津の「堀田」に詳しい方、次世代を担う若い方などお誘い合わせの上お越しく下さい。

自由参加

開催日時：平成24年11月11日（日）

（開場・受付開始 午後0時30分）

第1部：午後1時00分 ～ 約1時間30分
～ 休憩15分 ～

第2部：午後2時45分 ～ 約1時間30分

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター内

水郷パークセンターレストハウス2階（海津市海津町福江566）

議 題：(仮称)大江緑道等の個別テーマについての意見交換

【議題の概要】

【第1部】13:00～14:30

- ・アクアワールド水郷パークセンターにおける水郷景観（堀田等）の再生について
 - 1.堀田等の規模、位置、用水調達
 - 2.堀田等の活用年間活動計画
 - 3.管理運営組織
 - 4.使用する土や工法

【第2部】14:45～16:15

- ・10月20・21日に行った「物販イベント」についての成果と課題整理
- ・今後の「民活イベント・物販」の可能性について
- ・地域ブランド開発について



～会場へのアクセス～



〔仮称〕大江緑道とは・・・

「国営木曽三川公園（仮称）大江緑道」は、アクアワールド水郷パークセンターと隣接し、前川池および大江川沿いに計画を位置づけられており、周辺の水郷景観や水辺に親しむことのできる公園として計画しています。

大江緑道を整備することによって、

○自然環境や歴史文化への理解の増進

○水辺景観や生物生息・育成空間の保全

○地域の活性化

○河川空間を活かしたレクリエーションの充実

を実現します。

昨年度の検討で、それぞれのゾーンごとにまとめた概要は、下記のとおりです。

アクアワールド水郷パークセンターでは・・・

■輸中地域のシンボル・活動拠点

- ・地域参画のもとで推進(堀田の再生、義呂池・ハスの有効活用)
- ・自由広場の整備
- ・地場産品、食事提供、レンタサイクル機能の確立

〔仮称〕大江緑道北部ゾーンでは・・・

- 歴史・ふれあい広場<森下広場> ・輸中地域の歴史にふれあい、地域の様々な活動を受け止める場
- 森下広場と一体的な北のゲート<前川池周辺> ・回遊性の増大 ・利用者を誘導するサイン・案内
- 快適に憩える緑道 <大江川上流(石亀橋～水郷パーク) > ・桜並木の整備と眺望の活用

〔仮称〕大江緑道南部ゾーンでは・・・

- 地域の情報を盛り込んだ快適な緑道<大江川下流(水郷パーク～大江樋門) >
- ・地域情報を盛り込んだ自転車 ・歩行者道の整備
- 歴史・桜広場<万寿新田広場> ・輸中地域の歴史の紹介・早咲き桜による並木・広場の形成

【予告】ワーキング会議の今後の予定

平成24年12月上旬：ワーキング全体会議

平成25年1月：ネットワーク全体会議（平成24年度の総括会議）

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター（予定）



お問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所 河川公園課

〒511-0002 三重県桑名市大字福島 465 ☎0594-24-5719

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>



地域づくりネットワーク会議 ～ 第11号 ～

2012年11月

ニュース

第7回ワーキング会議

『「(仮称)大江緑道」を活かした地域づくり』を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

去る平成24年11月11日(日)、大阪府立大学大学院 教授・博士(学術)の藤原宣夫先生、滋賀県立大学 地域づくり教育研究センター特任准教授・工学博士の森川稔先生の司会・進行により、「(仮称)大江緑道」とアクアワールド水郷パークセンターの整備・運営などについて、2つのテーマに分けて議論を深めましたのでその内容をお知らせします。

■ 第7回ワーキング会議の概要

日 時：平成24年11月11日(日) 13:00～16:30
会 場：アクアワールド水郷パークセンター内レストハウス2階
参加者：海津市とその周辺にお住まいの方 約20名
主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
共 催：海津市



■ 当日の討議内容

- 【第1部(水郷景観の再生)】13:00～14:40
- ・アクアワールド水郷パークセンターにおける水郷景観(堀田等)の規模や形態と維持管理方法、環境や歴史の学習の場としての活用プログラムについて
- 【第2部(民活地域イベント・物販)】14:45～16:10
- ・民間活力を導入した地域イベント「海津マルシェ」及び舟運社会実験の開催報告と、今後の継続・展開について



■ 第1部 水郷景観の再生について

(ワーキング会議 7-1)

- ・アクアワールド水郷パークセンターに計画している「堀田」などについて、その構造や維持管理手法、学習体験等の有効利用と年間プログラムなどについての活発な議論が行われました。
- ・農業体験プログラム事例として、木曾三川公園の河川環境楽園の棚田を利用した「エコパラクラブ」「田んぼクラブ」等が紹介され、先進事例を基に堀田での体験プログラムについて様々な意見が出ました。
- ・堀田と掘りつぶれ(水面)の割合を再考すること、堀田の維持管理のために農業機械が入れる構造にしておくこと等が議論されました。
- ・水質改善の観点から、水草等の繁茂を考慮することが大切であるという意見が出ました。
- ・また、堀田の管理運営には、クラブ方式・NPO方式など様々な形態を考えて検討を継続することとなりました。



■第2部 民活地域イベント・物販

(ワーキング会議 7-2)

- パークセンターの「ハロウィーン体験」(10月20日(土)、21日(日))に社会実験として行った、地域物産販売会「海津マルシェ」の実施報告があり、好天にも恵まれ盛況であったことが報告されました。



- 同日に国土交通省と海津市が主催する舟運社会実験「輪中のお宝探検隊」についての報告があり、早期に予約が一杯になり内容も好評であったこと、官民一体となった連携イベントとしての開催の成果や意義などが報告されました。

- 地域製品のアピールになる販売会や舟運については、海津市や周辺施設との連携、地域性のアピール、コーディネーターの育成などの課題があるが、まずは継続的な開催が大切であり、その中から輪を広げていく必要があることを確認しました。



- 最後に、次回ワーキング会議の討議内容と日時について、事務局より案内がありました。

○第8回ワーキング会議：議題「平成24年度の活動総括について」
開催日時：平成24年12月2日(日)13時30分～(受付は13時より)
開催場所：アクアワールド水郷パークセンター パークセンターホール



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>